

## ▶ 株式のご案内 (株主メモ)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金交付 株主確定日	3月31日 ※なお、中間配当の株主確定日は9月30日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	6月下旬
定時株主総会における 権利行使株主確定日	3月31日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲 1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲 1-2-1 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り 方法の変更等)		みずほインベスターズ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)  みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行および、みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続きお取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

※みずほインベスターズ証券は、2013(平成25)年1月4日以降はみずほ証券となります。

公告方法	電子公告の方法により行う <a href="http://www.kinugawa-rubber.co.jp">http://www.kinugawa-rubber.co.jp</a>
------	--

## Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.

〒263-0005 千葉市稲毛区長沼町330番地 TEL: 043-259-3111 (代表) FAX: 043-259-3380

URL : <http://www.kinugawa-rubber.co.jp/>

スピード・変革・チャレンジ

第74期 第2四半期

## 株主通信

2012年4月1日～  
2012年9月30日



### COVER ASSY HOLE

用途：室内とエンジンルームの間のステアリングシャフトの開孔部をふさぐ

機能：遮音性、水密性向上、ドライバーの足元保護

Q 鬼怒川ゴムの強み・特長は？

POINT

ゴムの解析は全般的に非常に難しく、発展途上の分野でもあります。当社はこの研究に世界でも率先して取り組み、さまざまな開発に成功しています。その技術力が当社製品に活かされています。

① 日本を代表する

自動車用ゴム・樹脂部品メーカー

② 国際的 **トップクラス** シェア多数

— 自動車製品紹介 —



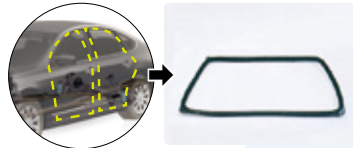
ホース



バンパー



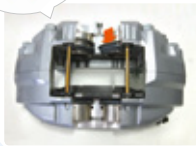
ガラスラン



ウェルトボディサイド



エンジンマウント ブッシュ



ブレーキカップ



ペダル

POINT

ブレーキカップは年間1億個以上生産しており、その確かな品質管理や無人化（全自動）一貫ラインによる高効率、低コスト生産技術などを有しています。さらに、グローバル生産体制の構築により『どの生産拠点でも同一で高品質』な商品を提供しています。

POINT

多くの独自の材料配合を有し、目的に合致した性能を持つ製品を提供しています。近年では、樹脂化による軽量化やリサイクル率向上など環境性能を重視した技術を活用しています。

Q 鬼怒川ゴムが導入した株式報酬型ストックオプションとは？



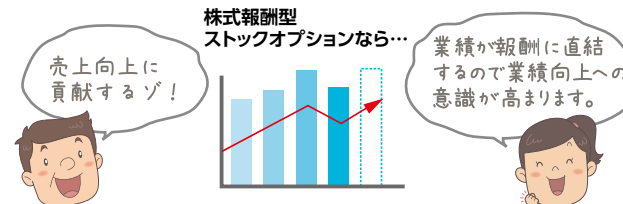
これまでと何が違うの？

鬼怒川ゴム工業では、役員の報酬制度を見直し、株式報酬型ストックオプションを導入することで、役員退職慰労金制度を廃止しました。この新たな制度には、いったいどのようなメリットがあるのでしょうか？



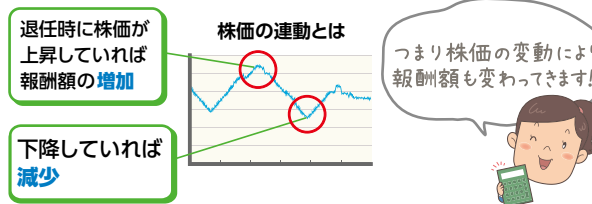
わかりやすくご説明します。

メリット1 役員の「企業業績向上意欲」を高める！



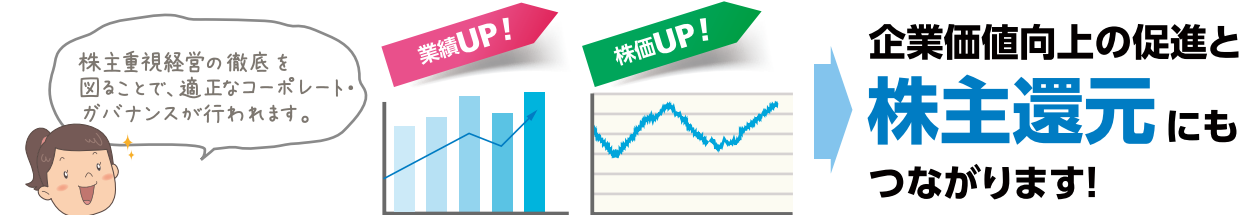
役員の「やる気！」につながります！

メリット2 役員報酬が株価と連動する合理的な報酬に！



役員報酬額が合理的に算出されます！

メリット3 役員報酬制度の透明性が高まり株主重視の経営に！



企業価値向上の促進と **株主還元** にもつながります！

Q 中期経営計画「Kinugawa Challenge 2015」の経過は？

昨年度発表しました2015年に向けた中期経営計画は、売上高1,000億円超、営業利益率12%以上を目標とし、グループ丸となって取組んでおります。売上高は、グローバルカーメーカーを中心に、車体シール部品をはじめホース・防振・ブレーキ部品など全商品群で拡販活動に取組み、12年度の活動目標（14年度以降の受注）の進捗率は50%（9月末現在）であり、年間目標を達成する見通しです。また、各工場においては現場が主体となった「モノ作り改善活動」を継続的に取組み、利益率の維持向上に努めております。

3つの構造改革プラス1

- ① 短期収益を上げる～モノ造りの継続した改革
- ② 売上を拡大「持続的な成長」～持続的な成長
- ③ 業務改革による収益体質の強化～業務改革



④ グローバルに展開



Q 国内外の拠点は？

海外拠点



国内拠点

生産委託会社

キヌガワ郡山  
キヌガワ防振部品  
キヌガワ大分  
キヌガワブレーキ部品

業務提携

東洋ゴム工業  
ハッチンソン (フランス)

国内関係会社

佐藤ゴム化学工業 (千葉県成田市)  
ナリタ合成 (千葉県成田市)  
帝都ゴム (埼玉県入間市)  
ケイジー物流 (千葉県千葉市)  
キヌテック (千葉県千葉市)  
エスイーシー化成 (山口県周南市)  
八洲ゴム工業 (埼玉県越谷市)  
根本精機 (千葉県千葉市)



株主のみなさまへ



代表取締役社長執行役員

関山定男

株主のみなさまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、第74期第2四半期株主通信をお届けいたします。

2013年3月期第2四半期当社グループ連結業績は、新興国を中心とした旺盛な自動車需要と国内ではエコカー補助金制度を背景に、アジア・日本で売上げを伸ばし増収となりました。しかしながら足下を見ますと、世界経済の減速、中国における販売減、エコカー補助金等終了による国内自動車販売台数の伸び悩みなど下半期は厳しい経営環境が覗えます。このような状況のなか、昨年度発表しました中期経営計画「Kinugawa Challenge 2015」を軸とした、2015年度売上高1,000億円超、営業利益率12%確保を目標に、今後も世界の自動車メーカーへの販売強化とグローバル拠点戦略を展開し、自動車産業の発展にお役に立てるようグループ一丸となって取組んでいく所存です。

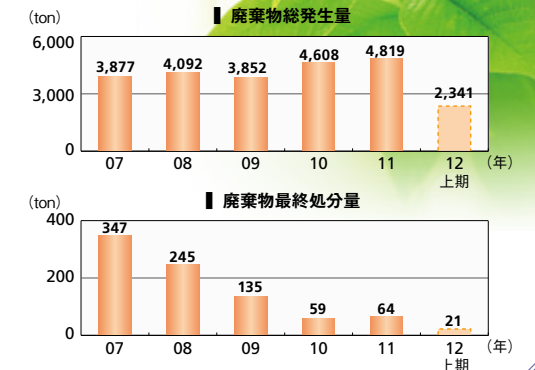
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

環境への取組み

循環型社会を目指し、リサイクルの向上・最終処分量の削減に取り組んでおります

- 2011年度廃棄物総発生量は、下半期の生産増により増加しました。今年度も前年同様、工程不良削減や材料歩留まり向上活動を継続し削減に努めてまいります。
- 廃棄物の最終処分量は従来の活動に加え、サーマルリサイクルや固形化燃料等の再資源化により、総発生量の2%以下まで減少しました。2011年リサイクル率は、98%と前年同様の高水準で推移しています。

国内の主な生産拠点では既にゼロエミッションを達成しており、グローバルでのゼロエミッション達成に向け活動を展開してまいります。



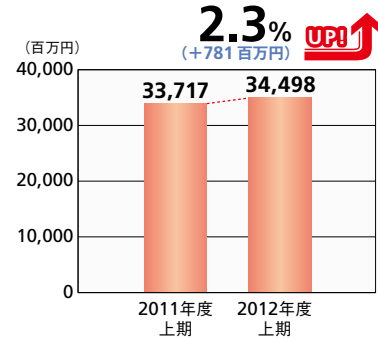
## 業績の概要

当社の主要得意先の自動車生産は、国内は前年の震災による生産停止の影響やエコカー補助金の効果など、また海外は新興国を中心とした販売の増加によりグローバルで前年同期比約1割の増加となりました。その結果、売上高は344億9千8百万円（前年同期比2.3%増）となりました。損益面は、資材のLCC化・汎用化およびモノ造り力改善活動の継続による効果があったものの、米州での新車立上げに伴うコスト

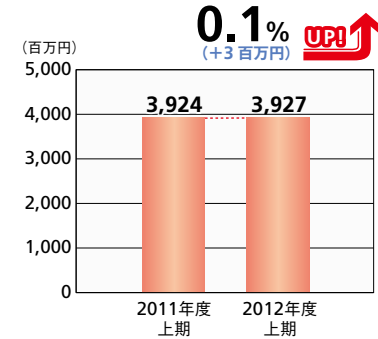
増や国内ではモデルチェンジ等による製品構成の変化や建機向け輸出の減少などの影響がありました。結果、営業利益は39億2千7百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は39億4千3百万円（前年同期比0.7%増）と微増でしたが、四半期純利益は、税務上の課税所得の増加により法人税負担が増え、22億2千6百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

### 【損益計算書】

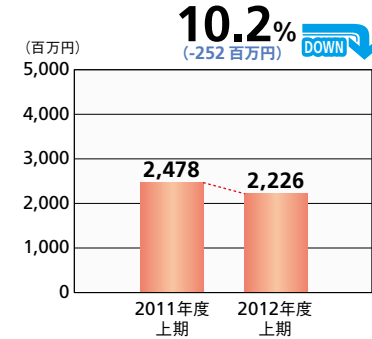
#### 売上高



#### 営業利益

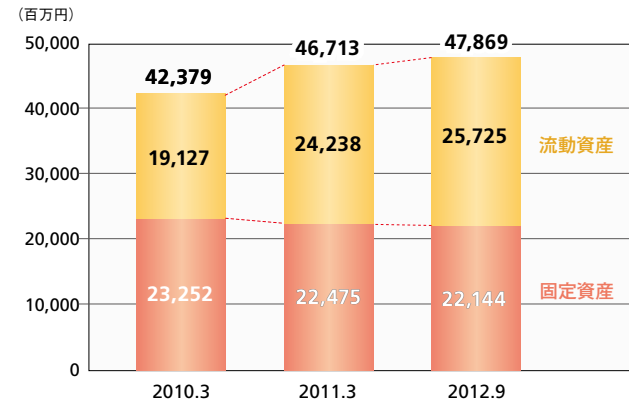


#### 当期純利益

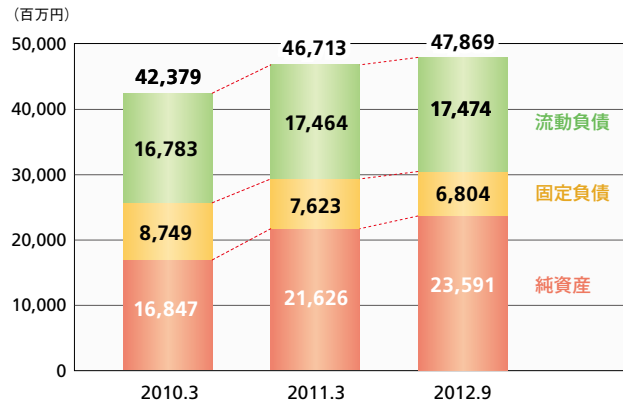


## 貸借対照表

### 資産の部

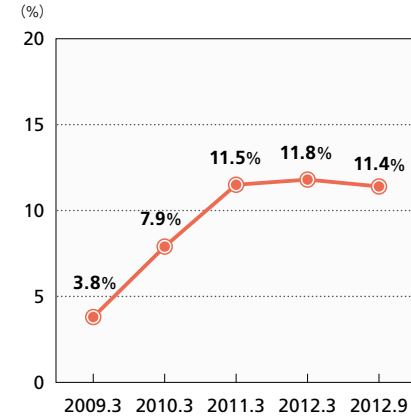


### 負債・純資産の部

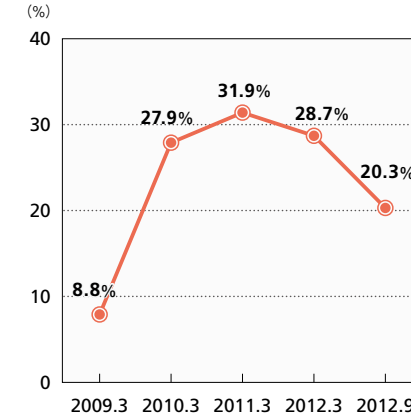


## 主要経営指標の推移

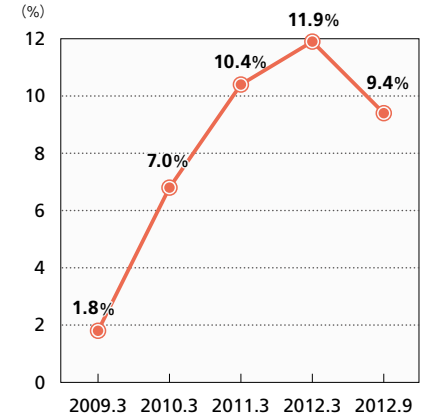
### ●営業利益率



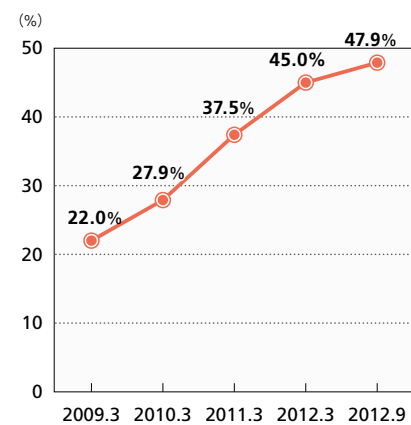
### ●ROE



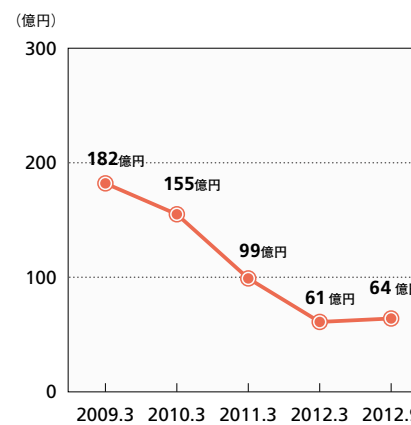
### ●ROA



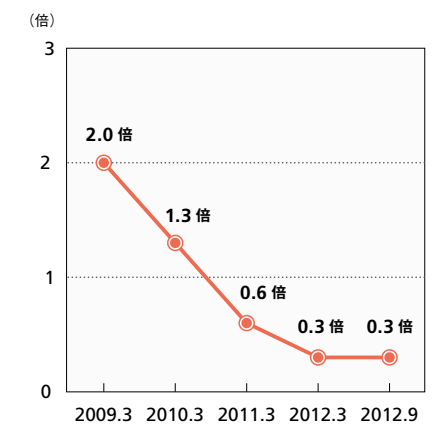
### ●自己資本比率



### ●有利子負債残高



### ●DER



注) 2012年3月期連結会計年度より、在外子会社等の収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算する方法に会計方針を変更しております。(これにより本書における過年度の数値も期中平均相場を適用)



## ▶トピックス

### ダイハツからSSC大賞 (シンプル・スリム・コンパクト)を受賞

4月、ダイハツ工業株式会社から、「シンプル・スリム・コンパクトな工程造り・モノ造り」に多大な貢献をしたことにより、「ムダを持たない直結ライン」としてSSC大賞を受賞致しました。



於：大阪 池田市民文化会館

### IR活動～機関投資家の皆さま向け 決算説明会の開催

5月、機関投資家の皆さまを対象に決算説明会を開催致しました。当日は前回比約2倍の87名もの多くの機関投資家の皆さまが参加されました。



於：東京丸の内 東京ステーションコンファレンス

### インドネシア(キヌガワインドネシア)操業開始

6月新拠点“KINUGAWA INDONESIA”(インドネシア 西ジャワ州)が操業を開始しました。インドネシアは、アセアン地域としてタイに次ぐ大きな市場規模であり、主に現地の日系カーメーカーを中心とした車体シール部品の供給拠点となります。



### 中国4番目の生産拠点“鬼怒川蕪湖”操業開始

8月中国の新拠点が操業を開始しました。中国カーメーカーをはじめ、日系を含むグローバルカーメーカーに部品を供給します。車体シール部品と中国では初めて防振部品を生産する工場となります。



### 鬼望会活動

7月、鬼望会定時総会を開催し、弊社より2011年度の主な取り組みや、今後の経営方針、地域戦略などを発表致しました。鬼望会は弊社とサプライヤー17社が「国際競争力のある事業運営を推進するために、活発な議論を提供する場」として組織したものです。



### お客さまとの共同改善活動による コストダウン活動

2009年以降、お客さまとの協働による製品設計、製品製造、輸送コスト、省エネまで多面的視点から製品のコストダウンに取り組んでいます。2012年度は、鬼怒川グループ内4社において活動し、総数500件以上の改善案を考案し順次実施しています。



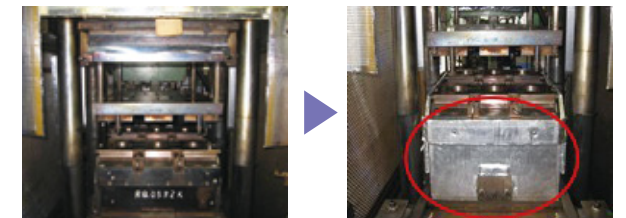
### 関東圏倉庫を集約削減…SCM改善

8～10月千葉県内にある倉庫の内2箇所を1箇所に集約し、また神奈川県内の倉庫を廃止しました。これにより2010年度から取組んでまいりました関東圏の倉庫集約計画を終了し、倉庫は7箇所から4箇所に集約しました。



### エネルギー効率の向上活動

省エネ活動の一環として、各工場では、金型の温度をより保ち熱エネルギーを無駄なく効率化させるため、地道な改善活動に取り組んでいます。例えば、金型に断熱材を巻き付け熱を逃がさない方法で、6.5%の省エネ実績をあげています。蛍光灯等に対しても、消費の少ないタイプを成形機に使用しており、徹底した省エネ活動を展開しています。



## 沿革

1939 (昭和14)	鬼怒川護謨工業株式会社創立 (自動車部品その他ゴム製品の製造)
1961 (昭和36)	鬼怒川ゴム工業株式会社に商号変更
1962 (昭和37)	東京証券取引所市場第二部に上場
1964 (昭和39)	本社所在地を千葉市に変更
1971 (昭和46)	栃木県真岡市に工場建設(現(株)キヌガワ防振部品、(株)キヌガワブレーキ部品) 台湾台北市に 「中光橡膠工業股份有限公司(中光ゴム)」設立
1977 (昭和52)	大分県中津市に工場建設(現(株)キヌガワ大分)
1978 (昭和53)	東京証券取引所市場第一部上場
1985 (昭和60)	アメリカ テネシー州ウインチェスター市に 「現地法人(現TEPRO)」設立
1992 (平成4)	福島県郡山市に工場建設(現(株)キヌガワ郡山)
1994 (平成6)	中国天津市に合弁会社 「天津星光橡膠有限公司(天津星光)」設立
1996 (平成8)	中国福州市に 「福州福光橡膠有限公司(福州福光)」設立
1999 (平成11)	東洋ゴム工業株式会社と資本・業務提携
2001 (平成13)	タイ アユタヤ県に「キヌガワタイランド社」設立 工場部門を分社化
2004 (平成16)	エスイーシー化成株式会社設立
2005 (平成17)	八洲ゴム工業株式会社の経営権取得
2006 (平成18)	福州福光橡膠の花都分工場を独立させ 「鬼怒川橡膠(広州)有限公司」を設立
2007 (平成19)	タイ CPR社を子会社化
2010 (平成22)	メキシコ グァナファト州 イラパト市に 「キヌガワ メキシコ」設立 中国 大連市に 「鬼怒川(大連)模具開発有限公司」設立 中国安徽省蕪湖市に 「鬼怒川橡膠(蕪湖)有限公司」設立
2011 (平成23)	帝都ゴム株式会社を完全子会社化
2012 (平成24)	インドネシア 西ジャワ州に 「キヌガワインドネシア」設立

## 会社概要

2012年9月30日現在

名称	鬼怒川ゴム工業株式会社 Kinugawa Rubber Industrial Co., Ltd.
証券コード	5196
本社所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼町 330 番地 TEL: 043-259-3111
設立年月日	1939年10月1日
資本金	5,654百万円
主要な事業内容	自動車用ゴム及び合成樹脂製品の製造・販売
従業員数(連結)	3,717名
営業所	大阪営業所 大阪府吹田市南金田 2-3-26 ファースト21 803号 TEL:06-6155-4599

## 役員体制

役職名	氏名
代表取締役社長執行役員	せきやま きだ お 関山 定男
取締役常務執行役員	よだ のり お 依田 憲雄
取締役常務執行役員	こくすり じろう 小薬 次郎
取締役常務執行役員	いまばやし いさお 今林 功
監査役	すえまつ けん 末松 謙
監査役(非常勤)	おおき あきら 大木 宣
監査役(非常勤)	いまい のぶゆき 今井 信行
監査役(非常勤)	よしの ひろあき 吉野 博昭

## 株式の状況

2012年9月30日現在

発行可能株式総数 160,000,000株  
発行済株式総数 67,299,522株(自己株式65,233株)  
株主数 5,707名

### 大株主

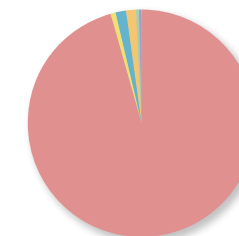
No	株主名	所有株数	比率
1	みずほ信託銀行株式会社(退職給付信託日産自動車口)	13,626,665	20.27
2	東洋ゴム工業株式会社	8,000,000	11.90
3	GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	6,029,001	8.97
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,606,000	5.36
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,446,000	5.13
6	日本生命保険相互会社	1,793,400	2.67
7	株式会社みずほコーポレート銀行	1,336,964	1.99
8	株式会社損害保険ジャパン	873,680	1.30
9	株式会社りそな銀行	815,000	1.21
10	株式会社常陽銀行	737,000	1.10

(注) 比率は自己株式65,233株を控除して計算しております。

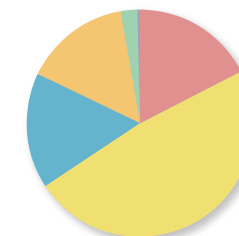
### 所有者別分布状況・所有株数別分布状況

所有者区分	株主数比率(%)	株式数比率(%)
個人・その他	94.76	18.16
金融機関	0.70	46.73
その他国内法人	1.79	16.17
外国人	1.86	16.31
証券会社	0.88	2.53
自己名義株式	0.01	0.10

株主数比率(%)



株式数比率(%)



	2008.3	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3(予)
当期純利益(百万円)	486	796	2,977	4,467	5,300	4,200
1株当り当期純利益(円)	7.25	11.86	44.35	66.56	78.83	62.47
1株当り配当金(円)	3	3	4	5	6	8(中間配当4含む)